

2024年度 学士入学試験 転部試験 科目等履修生選考 問題

早稲田大学政治経済学部

政治学

次の問題1・2に答えよ。解答はそれぞれの問題の所定の解答用紙に記入せよ。

問題1. 次の設問AとBのうち一つを選択して、20行以内で答えなさい。

A 現代の公共哲学において、「公共圏」(public sphere)とは何を指すか説明しなさい。下記の四つの言葉を使用し、初出時に下線を付して明示すること。語順の変更は可とする。

ユルゲン・ハーバーマス 政治的な意見・意思形成 共同体 公共的正当化

B ジョン・ロールズは、現代の福祉国家(welfare state)をどのように評価したか述べなさい。下記の四つの言葉を使用し、初出時に下線を付して明示すること。語順の変更は可とする。

功利主義 格差原理 アンダークラス 財産所有のデモクラシー

問題2. 次の設問(1)と(2)のうち一つを選択して、答えなさい。

(1) 次の文をよみ、以下の問いに答えなさい。

政治学では、常に複数の理論や仮説が競合している。例えば、民主主義下での投票の方向性についてのモデルとしては、有権者の①党派性に注目する【A】学派と、有権者の合理性を強調する【B】モデルとが対立している。また、政党システムを巡っては、リップセットらが唱えた【C】的なアプローチとデュベルジェの法則という選挙制度を重視する考え方とがある。国際政治の分析においても、リアリズムとリベラリズムという考え方が長らく対立していた。ただし最近では、大きな「イズム」に拘泥した分析視角からでは、戦争の発生を説明できないという批判がなされ、交渉理論に基づくパラダイム転換が起こった。この転換を主導した【D】は、対立する国家どうしであっても、戦うことに何らかのコストがかかる限り、戦争よりも望ましい帰結が必ずあるはずだと主張した。もっとも、この議論が妥当であるためには、たとえば【E】という条件が整わなければならない。

1-1 【A】に当てはまる言葉として、次のうち最も適切なものを選び記入しなさい。

カーネギー ケンブリッジ コロンビア シカゴ ミシガン

1-2 【B】に当てはまる言葉として、次のうち最も適切なものを選び記入しなさい。

ライカー=オーデシュク 業績評価 戦略的投票 サプライサイド 強化学習

1-3 【C】に当てはまる言葉として、次のうち最も適切なものを選び記入しなさい。

法学 経済学 心理学 社会学 文化人類学

1-4 【D】に当てはまる研究者の名(苗字)を書きなさい。

1-5 【E】に入るフレーズとして、もっとも適切なものを選び記号を記入しなさい。

- (ア) 戦争にかかるコストが均一である
- (イ) 戦争に勝つ確率が非対称的である
- (ウ) 対立の原因となっている利害が分割可能である
- (エ) 対立を仲介しようとする第3国や国際機関が存在する

1-6 下線①の「党派性」概念には、政党帰属意識と政党支持の二つがあるが、帰属意識でなく支持で投票を説明することには問題点が指摘されている。その問題点を解説しなさい。

(2) 最近、権威主義体制のもとでも競争的選挙が行われていることが知られている。民主主義でない国において、政権政党や政権につくリーダーが選挙を行うことが合理的である理由を少なくとも三つ挙げて、説明しなさい。

